

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 21 日 (2009.5.21)

【公開番号】特開 2006-332030 (P2006-332030A)

【公開日】平成 18 年 12 月 7 日 (2006.12.7)

【年通号数】公開・登録公報 2006-048

【出願番号】特願 2006-106104 (P2006-106104)

【国際特許分類】

H 0 1 R 12/08 (2006.01)

H 0 1 R 12/38 (2006.01)

H 0 1 R 12/04 (2006.01)

H 0 5 K 1/14 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 9/07 B

H 0 1 R 9/09 G

H 0 5 K 1/14 H

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 6 日 (2009.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】コネクタ及び電子機器

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

接続端子を含む第 1 のハウジングと、
前記接続端子の先端部を受け止めるための凹部を備える第 2 のハウジングと、
前記接続端子を保持するための孔を備えるカバーと、を有し、
前記第 2 のハウジングは、前記凹部に前記接続端子が変形する方向に誘導する誘導手段
を有することを特徴とするコネクタ。

【請求項 2】

請求項 1 において、
前記誘導手段は導電性材料であることを特徴とするコネクタ。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 において、
前記誘導手段は立体的なしずく型であることを特徴とするコネクタ。

【請求項 4】

コネクタと、フラットケーブルと、プリント基板とを有し、
前記コネクタは、接続端子を含む第 1 のハウジングと、前記接続端子の先端部を受け止
めるための凹部を備える第 2 のハウジングと、前記接続端子を保持するための孔を備える
カバーとを有し、
前記フラットケーブルは、長手方向に沿って平行に配置された複数の導体と、前記複数

の導体を被覆する絶縁体とを有し、

前記プリント基板は、導通部を有し、

前記接続端子は、前記絶縁体を破って前記導体のいずれかーに電氣的に接続され、かつ
、前記導通部に電氣的に接続され、

前記第２のハウジングは、前記凹部に前記接続端子が変形する方向に誘導する誘導手段
を有することを特徴とする電子機器。

【請求項５】

コネクタと、フラットケーブルと、プリント基板とを有し、

前記コネクタは、接続端子を含む第１のハウジングと、前記接続端子の先端部を受け止
めるための凹部を備える第２のハウジングと、前記接続端子を保持するための孔を備える
カバーとを有し、

前記フラットケーブルは、長手方向に沿って平行に配置された複数の導体と、前記複数
の導体を被覆する絶縁体とを有し、

前記プリント基板は、導通部を有し、

前記第２のハウジングは、前記凹部に前記接続端子が変形する方向に誘導する誘導手段
を有し、

前記接続端子は、前記絶縁体を破って前記導体のいずれかーに電氣的に接続され、前記
凹部に収納された際、変形して前記導通部と接触し、前記導体と前記導通部とが電氣的に
接続することを特徴とする電子機器。

【請求項６】

請求項４または５において、

前記誘導手段は導電性材料でなることを特徴とする電子機器。

【請求項７】

請求項４乃至６のいずれかーにおいて、

前記誘導手段は立体的なしずく型であることを特徴とする電子機器。